

# 令和8年度「特別の教科 道徳」第2学年 年間指導計画案

学校の教育目標 心身共に健康な人 自ら学ぶ人 他を思いやる人  
 学年の重点項目 B(6)思いやり、感謝

月	教材名		内容項目	主題名	ねらい	主な発問 (◎中心発問、◆学びのキーワード)	評価のポイント (□ねらいについて、◇指導方法について)	教科等との関連	テーマ
※	ミニ教材	成功と失敗	A- (4) 希望と勇気、克己と強い意志	成長に必要なこと	成功だけでなく失敗からも得られるものがあり、どんな体験からでも学ぼうとする姿勢が成長につながるこの自覚を通して、失敗や困難を受け止め目標に向かって努力しようとする態度を育てる。	○中学校で1年間、道徳科を学んでみて、どんなことを感じたか。 ◆「成長に必要なこと」について考えよう。 ○教材を読んでどんなことを考えたか。 ○成功したとき、失敗したときにどんな感情が起こるだろう。 ◎成功と失敗のどちらがより成長できるだろう。また、成長の仕方は違うのだろうか。 ○どんなことが自分の成長に必要だと思うか、考えをまとめよう。	□失敗のマイナス面だけでなくプラス面も見つめ、前向きに受け止めようとする発言や記述が見られたか。 ◇成功と失敗によって得られるものや成長の仕方の違いについて、表などを用いて多面的・多角的に考えさせることができたか。	保体、総合	スポーツ
4月 (3時間)	1	おじさん役と私	A- (3) 向上心、個性の伸長	個性を生かす	一人ひとりに必ず自分らしいよさがあり、自分を受け入れたうえで広い視野と向上心をもって磨くことで個性は輝いていくことの自覚を通して、自分らしい生き方を追求しようとする態度を育てる。	○個性とは、どんなことか考えてみよう。 ◆「個性を生かす」には、どんな考え方が大切だろう。 ○舞台上で立ちまわった天真さんは、どんな気持ちだっただろう。 ○周囲が戸惑う中、天真さんが「さらにいい男役になれそう」とおじさん役に立候補したのはどうしてだろう。 ◎「脇役のトップスター」を目指したことで、天真さんの中で何が変わっていったのだろう。 ○いまの自分を見つめ直して、考えたことをまとめてみよう。	□自分を見つめて自分のよさを考えたり、これまでの経験を通してよりよい生き方につなげていこうしたりする発言や記述が見られたか。 ◇自分のよさを見つめさせることで、将来、社会の中で納得できる生き方を考えるきっかけとなるように促すことができたか。	音楽、総合	自立と共生、伝統と文化
	2	おばちゃんのくれた「おまじない」	C- (13) 勤労	なんのために働くのか	一生懸命に仕事をする中で、必ず人の役に立ち、社会を支え、それが自分の喜びややりがい、誇りにつながるこの自覚を通して、働くことで人や社会の役に立とうとする心情を育てる。	○「働く」と聞いて、どんなことをイメージするか。 ◆人は「なんのために働くのか」を考えよう。 ○今まで雑に仕事をしてきたことにごくぜんとしたとき、「私」はどんなことを考えただろう。 ○おばちゃんが亡くなり、病院中に響き渡るほど大声で泣いたとき、「私」はどんな思いだっただろう。 ◎「私」がおばちゃんとの約束を大切に仕事してきたのは、なぜだろう。 ○あなたはなんのために働きたいと思うか、考えをまとめてみよう。	□多様な職業が人や社会を支えていることや、仕事に誠実に向き合うことを通じて人や社会の役に立とうとする発言や記述が見られたか。 ◇「私」の心情の変化と生徒の職業観とが結びつくように問い掛け、勤労観・職業観について多面的・多角的に考えさせることができたか。	総合	自立と共生、生命の尊厳
	3	挨拶は言葉のスキンシップ	B- (7) 礼儀	挨拶の意味	形だけではなく相手を尊重する心が挨拶の本質であり、その心を挨拶によって届けることで、円滑な人間関係が築けることの自覚を通して、時と場に応じた言動をとろうとする実践意欲を育てる。	○挨拶は、ただすべばいいのだろうか。 ◆「挨拶の意味」について考えよう。 ○「私」はどうして職場体験学習に積極的になれなかったのだろう。また、「私」はどんな気持ちで職場体験学習に臨んでいたのだろう。 ○店長さんに「お客様にどんなときに喜んでもらったの？」と聞かれ、なぜ「私」は答えられなかったのだろう。 ◎店長さんが言う「言葉のスキンシップ」とは、どんなものだろう。 ○挨拶に込められている思いについて考えてみよう。	□挨拶が、相手を尊重し敬愛することにつながり、コミュニケーションの基本になることや、「……の気持ちで挨拶したい。」「形式だけの挨拶にならないように気をつける。」のような今後の実践につながる前向きな発言や記述が見られたか。 ◇ふだんの自分の挨拶を振り返らせ、挨拶の意義について深く考えさせることができたか。	国語、総合	自立と共生
5月 (3時間)	4	初心	A- (4) 希望と勇気、克己と強い意志	目標に向かって	物事を始めたときの思いが自分の信念となり、それが目標に向かって困難を乗り越えていく原動力になるこの自覚を通して、より高い目標に向けて着実にやり遂げようとする実践意欲を育てる。	○あなたは、何があると、または何をすると、頑張ることができるか。 ◆「目標に向かって」いくために大切なことはなんだろう。 ○父に「僕は柔道をするために生まれてきたと思う。」と言った康生さんは、どんな気持ちだっただろう。 ○康生さんは、どんな思いで「これからの康生を見ていてください。」と心の中で答えたのだろう。 ◎康生さんは、どんな思いから初心に戻ることを大切にしたのだろう。 ○高い目標を達成するためには、どんなことが大切なのだろう。	□目標達成のために、自分の弱さに打ちかち、困難を乗り越えることについて、自分自身との関わりの中で考える発言や記述が見られたか。 ◇問い返しによって、ねらいについて多面的・多角的に考えさせることができたか。	社会、保体	伝統と文化、スポーツ
	5	五月の風—カナ—	A- (1) 自主、自律、自由と責任	自分の意志で	自分の心の弱さを見つめ、自分の意志を再確認することで、周囲に惑わされず、自信をもって自分の意志を貫けるようになることを自覚し、自主的に考え誠実に実行していこうとする判断力を育てる。	○友達とスマホでやり取りすることはあるか。 ◆「自分の意志で」行動するとき、大切なことはなんだろう。 ○おばあちゃんからのスマホを買ってあげるといふ申し出を断ったカナをどう思うか。 ○夜、母親に「やっぱりスマホ買ってくれない。」とねだるカナをどう思うか。 ◎カナが、ミカに会って伝えた言葉には、カナのどんな思いがあったのだろうか。 ○自分で考え行動するとき、大切なことについて考えてみよう。	□周囲に惑わされず、自分で考え決めたことを大切にし、誠実に実行することについて、自分なりに考えた発言や記述が見られたか。 ◇共感的に考えさせながら、自分の意志に従って行動しようとするカナの考え方に気づかせることができたか。	技・家、特活	いじめ、情報社会

# 令和8年度「特別の教科 道徳」第2学年 年間指導計画案

学校の教育目標 心身共に健康な人 自ら学ぶ人 他を思いやる人  
 学年の重点項目 B(6)思いやり、感謝

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問 (◎中心発問、◆学びのキーワード)	評価のポイント (□ねらいについて、◇指導方法について)	教科等との関連	テーマ
6	五月の風—ミカ—	B—(8) 友情、信頼	信頼される友達	友達から寄せられた信頼に対して偽りのない心で応えることで、よりよい友達関係を築いていけることの自覚を通して、互いに励まし合い、高め合う友達同士になろうとする実践意欲を育てる。	○「五月の風—カナ—」はどんな話だったか。 ◆「信頼される友達」になるために、大切なことはなんだろう。 ○ミカがカナに連絡しなかったことには、どんな問題があったのだろう。 ○カナからの電話で、ミカの胸がどきどきして、カナの心細そうな声が耳から離れなかったのはなぜだろう。 ◎「私はカナの信頼に答えていない。」と思ったミカは、自分の行動からどんなことを考えたのだろう。 ○信頼される友達になるためには、どんなことが大切だろう。	□信頼し合える友達とはどんな友達かを考え、よりよい友達関係を築いていこうとする発言や記述が見られたか。 ◇問題解決的な学習を通して、互いに励まし合い、高め合う本当の友達について考えさせることができたか。	技・家、特活	いじめ、情報社会
6月 (4時間)	リスペクト アザース	C—(11) 公正、公平、社会正義	人権を考える	違いを前提に、自分と合わない相手であっても同じ集団や社会の仲間としてその個性や存在をありのまま認めることで人権を尊重できることを自覚し、差別や偏見のない社会を実現しようとする態度を育てる。	○「文化の違い」について思いつくものを挙げてみよう。 ◆「人権を考える」うえでの基本とはなんだろう。 ○サンディエゴで、その行動を起こしてしまった根本の考え方を問題にして、「リスペクト アザース」と言っていたのはなぜだろう。 ○日本に来て、これまでのサンディエゴでの常識が通用しなかったとき、「僕」はどう考えたのだろう。 ◎「リスペクト アザース」と「みんな仲良くしなさい」とには、どんな違いがあるのだろう。 ○差別や偏見を生む原因はどんなところにあるだろう。いろいろな角度から考えてみよう。	□「他の人のことを尊重する」という考え方を通して、歴史的な背景、風土などを踏まえてアメリカと日本の考え方を比べ、「人権を考える」うえでの基本について考えた発言や記述が見られたか。 ◇考え方の違いを比較、整理することを通して、生徒一人ひとりがよりよい生き方につながるよう考えさせることができたか。	社会、特活	いじめ、自立と共生、国際理解
	名乗り出なかった友	B—(6) 思いやり、感謝	思いやりのある行動	相手の立場を尊重したさりげない親切やいたわりの行動が多様な感謝を生むことの自覚を通して、潤いのある温かな人間関係を築こうとする態度を育てる。	○親戚や地域の高齢者などに、思いやりのある行動をとった経験はあるか。 ◆「思いやりのある行動」について考えよう。 ○全校集会で友達三人の顔を見ることができなかった「僕」の心の内は、どんなものだろう。 ◎三人の友達は、どうして名乗り出なかったのだろう。 ○思いやりのある行動をするときに、大切なことはなんだろう。	□さりげない思いやりの心と感謝の心をもつ大切さについての発言や記述が見られたか。 ◇「僕」の思いだけでなく、お年寄りの女性や多くの人の思いから多面的・多角的に考えさせることができたか。	特活	自立と共生
	戦争を取材する	A—(5) 真理の探究、創造	真実を追い求める	真実を追い求めることは、新たな見方と多面的な考え方の発見や、正しい判断、自分や世界のよりよい未来につながることを自覚し、謙虚に未知のことを探究しようとする実践意欲を育てる。	○「ジャーナリスト」と聞いてどんな仕事を思い浮かべるか。 ◆「真実を追い求める」ことの意味について考えよう。 ○教材の中で、印象に残った場面はどこか。 ○息子を亡くした父親からの感謝の言葉を聞いて、山本さんはどんなことに気づいたのだろう。 ◎山本さんがジャーナリストの仕事が続けたのは、どんな思いからだろう。 ○真実を追い求めることには、どんな意味があるのだろう。 ○今日の学習を振り返り、改めて考えたことや新たに気づいたこと、さらに深めたいことについて整理しよう。	□真実を追い求めることは自分自身の未来をつくるとともに、よりよい社会をつくる原動力になることについて、自分自身の生き方と結び付けて考えている発言や記述が見られたか。 ◇問い返しによって、真実を追い求めることの意味を深く考えさせることができたか。	社会、総合	情報社会、自立と共生、国際理解
	時を越えて—樫野で生まれたきずな—	C—(18) 国際理解、国際貢献	国と国のきずな	同じ世界に生きている人間だからこそ、国や時代を超えて助け合おうとする心があることの自覚を通して、世界平和と人類の発展に貢献しようとする実践意欲を育てる。	○日本語が話せない人が困っていたら、あなたはどうか考えてみよう。 ◆「国と国のきずな」を深めるために大切な考えはなんだろう。 ○日本に帰国できてから、沼田さんはトルコの人たちに対してどんな気持ちだっただろう。 ○沼田さんは、なぜトルコへの支援活動を行っていったのだろう。 ◎「恩返しだけではなく、何か違う意味ももっている」とは、どういうことだろう。 ○国際社会の中で他国の人々と接するとき、どんな考え方を大切にしたいかまとめてみよう。	□同じ人間として他国の人も尊重し合うことの大切さや国際人としての生き方などについての発言や記述が見られたか。 ◇導入発問と中心発問の問い返しをつなげ、自分ごととして考えさせることができたか。	社会、外国語	生命の尊厳、国際理解、先人の伝記
11	父の決意	D—(19) 生命の尊さ	生き抜くこと	命は自分だけのものではなく、家族などの強いきずなで結ばれた関係性に支えられて私たちは生きていることを自覚し、たった一つの命を大切に人生を生き抜こうとする態度を育てる。	○どうして命は大切なのだろう。 ◆「生き抜くこと」に大切な、命の考え方はなんだろう。 ○目が覚めたが右半身が動かず、ただ涙を流すだけの父は、何を考えていただろう。 ○がむしやらにタオルで首を絞め続けていた父は、どんな思いだっただろう。 ◎父の生き抜くことという強い気持ちを支えているものはなんだろう。 ○あなたにとって、生きる支えになっているものはなんだろう。	□命の大切さを多様な視点で見つめ、さまざまな関係性の中にある自分の命を大切に生きていくことについての発言や記述が見られたか。 ◇家族の支えによって父親の考え方に変わって見られ立ち直っていく過程について、家族愛ではなく、父親の命の捉え方(Dの視点)の変容という観点で指導するための問い返しを具体的に準備し、生徒の考えを深めさせることができたか。	技・家	生命の尊厳

# 令和8年度「特別の教科 道徳」第2学年 年間指導計画案

学校の教育目標 心身共に健康な人 自ら学ぶ人 他を思いやる人  
 学年の重点項目 B(6)思いやり、感謝

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問 (◎中心発問、◆学びのキーワード)	評価のポイント (□ねらいについて、◇指導方法について)	教科等との関連	テーマ
7月 (2時間)	12 和樹の夏祭り	C- (16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	地域の活動のよさ	地域社会を形成するのは自分たちであるという意識をもって関わるからこそ、郷土への愛着や誇りが生まれることの自覚を通して、問題意識をもち、郷土の発展に努めようとする実践意欲を育てる。	○自分が住む地域で、みんなで力を合わせて取り組むようなイベントはあるか。 ◆「地域の活動のよさ」を保つために、大切なことはなんだろう。 ○地域の夏祭りの中止が決定し、和樹はどんな思いでいただろう。 ○「楽しんどるか？」という剛に「それは、こっちのセリフじゃ。」と返した和樹は、どんなことを考えていただろう。 ◎剛たちの「俺らの祭り」は、和樹の地域の祭りとのように違っていたのだろうか。 ○地域の活動を続けていくために、自分たちに大切なことはなんだろう。	□地域社会の一員として、郷土の伝統と文化の継承とその発展に努めようとする発言や記述が見られたか。 ◇生徒自身が生活する地域社会を想起させ、その中で自己の生き方を考えさせることができたか。	社会、特活	伝統と文化
9月 (4時間)	13 他人の靴を履いてみる	B- (9) 相互理解、寛容	ほかの人の立場	ほかの人の立場に立つことで、多様な視点から物事を見ることができ、自分の世界が広がることの自覚を通して、意見や立場の異なる人に対しても自分から理解しようと努力する態度を育てる。	○自分の考えや思いが相手に伝わらなくて困ったことはないか。 ◆「ほかの人の立場」に立つときに、大切なことはなんだろう。 ○ここでいう「靴」とは、なんのことだろう。 ○スバルとダンは自分の意見を言った後、どんなふうによかったのだろうか。 ◎「他人の靴を履く」ことは難しいにもかかわらず、それが大切なのはどうしてだろう。 ○ほかの人の立場に立つときに、大切なことはどんなことだろう。	□他者の立場に立つことの意義について考え、実践しようとする発言や記述が見られたか。 ◇体験的な活動や思考ツールなど指導方法を工夫し、問い返すことで他者の立場に立つことの意味や価値を深く考えさせることができたか。	特活	いじめ
	14 ヨシト	C- (11) 公正、公平、社会正義	公正な態度	同調圧力に流され傍観し異質な存在を排除してしまう人間の弱さを乗り越えて、集団の一人として正義を貫く努力が必要であることを自覚し、差別や偏見のない公正な集団をつくらうとする態度を育てる。	○「空気が読めない」という表現を、どんなときに使っているか。 ◆「公正な態度」を貫くために大切なことはなんだろう。 ○「ヨシト」では何が問題になっているのか、考えてみよう。 ○ヨシトにティッシュを渡した「僕」は、どんなことに気づいたのだろうか。 ◎周りに流されたり自分と異なる人を排除したりして、公正な態度がとれないことがあるのは、なぜだろう。 ○公正な態度を貫くために大切なことをまとめてみよう。	□同調圧力に流され差別や偏見を傍観してしまう人間の弱さがあることや、それらをなくすよう努力しようとする発言や記述が見られたか。 ◇「僕」が決意するまでの葛藤や心の変化から、問い返しによって、人間の弱さや公正な態度を貫くために大切なことを考えさせることができたか。	特活	いじめ
	15 ネット将棋	A- (1) 自主、自律、自由と責任	責任ある言動	顔が見えない相手だからこそ、自分の言動を正すのはほかならぬ自分自身であり、自分の良心や誇りに従うことが責任ある言動につながることを自覚し、誠実に行動しようとする判断力を育てる。	○将棋の終わり方を知っているか。 ◆「責任ある言動」とは、どんなものだろう。 ○嫌そうな顔もせず駒を片づける健人を見て、「僕」はどんなことを思っていたらう。 ○「僕」がネット将棋からいきなりログアウトしたのは、どうしてだろう。 ◎健人のツッコミに笑えなかった「僕」は、どんなことを考えたのだろうか。 ○インターネット上の責任ある言動とはどんなものか、考えたことをまとめてみよう。	□自分の良心や誇りに従って善悪の判断を正しく行い、相手にも自分にも誠実に行動しようとする発言や記述が見られたか。 ◇発問構成によって、相手や自分の視点など、多面的・多角的に考えさせることができたか。	保体、技・家	情報社会、スポーツ
	16 樹齢七千年の杉	D- (21) 感動、畏敬の念	自然の偉大さ	人間の生きる時間をはるかに超えた自然の生命がもつ美しさや偉大さから、私たちは生きる力を得ることができることの自覚を通して、人間の力を超えたものを敬おうとする心情を育てる。	○これまで自然について「美しいな。大きいな。すごいな。」と心を打たれた経験や圧倒された経験はあるか。 ◆「自然の偉大さ」は、私たちの生き方とどのように関わっているのだろうか。 ○樹齢七千年の杉の存在を聞きながら、「私」の気持ちはどのように変化していったらう。 ◎「死の瞬間まで、命の火を、ほうほうと燃やす。美しい生き方」とはどんな生き方だろう。 ○自然の美しさや偉大さは、私たちの生き方にどんな影響を与えるか、考えてみよう。	□自然のかけがえのなさや偉大さを感じ取り、畏敬の念を深めているような発言や記述が見られたか。 ◇感動した体験を想起させたり写真を活用したりすることで、生徒自身に関わりのあることとして考えさせることができたか。	社会、理科	環境と未来
17 自分の弱さと戦え	D- (22) よりよく生きる喜び	弱さの克服	自分の弱さや未熟さを認めたくえ、自分のやってきたことや可能性を信じ切ることが人間としての強さにつながっていくことの自覚を通して、人間として気高く生きようとする態度を育てる。	○バラスポーツにはどんな種目があるか、知っているだけ挙げてみよう。 ◆国枝さんが取り組んでいた「弱さの克服」について考えよう。 ○「自分の弱さと戦え」とは、どういうことだろう。 ◎国枝さんが、精神面で殻を破るために必要だったことはなんだろう。 ○自分の弱さを克服するために、どんなことが大切か考えてみよう。	□自分の弱さや醜さを克服し、強さや気高さに変える思いをもとうとする発言や記述が見られたか。 ◇国枝さんと生徒自身を結び付けて、自分ごととして考えさせることができたか。	保体、総合	スポーツ	

# 令和8年度「特別の教科 道徳」第2学年 年間指導計画案

学校の教育目標 心身共に健康な人 自ら学ぶ人 他を思いやる人  
 学年の重点項目 B(6)思いやり、感謝

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問 (◎中心発問、◆学びのキーワード)	評価のポイント (□ねらいについて、◇指導方法について)	教科等との関連	テーマ
10月 (4時間)	18 小さな工場の大きな仕事	C- (13) 勤労	社会に貢献する	それぞれの職業に固有の魅力や価値があり、社会の問題解決と発展に貢献していることの自覚を通して、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献しようとする実践意欲を養う。	○将来、なりたい職業はあるか。 ◆「社会に貢献する」とは、どういうことだろう。 ○「僕」の気持ちと同感だなと思ったところ、そうでないところについて考えよう。 ◎父の黒い手が誇らしく見えたとき、「僕」は何に気づいたのだろう。 ○社会に貢献するとはどんなことか、まとめてみよう。	□それぞれの職業が社会の発展に貢献していることや、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献しようとする発言や記述が見られたか。 ◇問い返しによって、「僕」の考えるかっこいい職業の考え方が変化していくことに気づかせ、生徒自身の職業観・勤労観を多面的・多角的に考察させることができたか。	理科、総合	自立と共生
	19 上勝から世界を変える	D- (20) 自然愛護	自然を守る取り組み	人間は自然の中で生かされており、その自然を守るためには自分の生活を見つめ直し、共に生きようとする努力が必要であることを自覚し、環境保全活動に貢献しようとする態度を育てる。	○私たちが生活の中で出す「ごみ」について考えたことはあるか。それはなぜか。 ◆「自然を守る取り組み」をするときに、大切なことはなんだろう。 ○上勝町ではどんな取り組みが行われているだろう。 ○「何か学びが生まれることを願っている」とあるが、それはどんな学びだろう。 ◎東さんは、どんな思いからゼロ・ウェイストに取り組み、発信しているのだろう。 ○自然環境を守り引き継いでいくために、どんな生き方ができそうか考えてみよう。	□私たちが生かしている自然への感謝の気持ちや、その保全に対して積極的に貢献しようとする発言や記述が見られたか。 ◇生徒の意見を取り上げて問い返すことにより、自分と自然のつながりを意識させ、考えを深めさせることができたか。	社会、理科、総合	環境と未来、安全な生活、社会参画
	20 美しい鳥取砂丘	C- (10) 遵法精神、公德心	規則の役割	規則を定めて互いの権利や集団の共有財産を守ること、住みよい社会をみんなで作っていきけることの自覚を通して、調和と規律を守るための法や規則を進んで守ろうとする態度を育てる。	○日本の天然記念物と聞いて、何が思い浮かぶか。なぜ定められているのだろう。 ◆「規則の役割」について考えよう。 ○条例を作った人たちは、どんな思いで作ったのだろう。 ○条例があるにもかかわらず、落書きが続いてしまうのはなぜだろう。 ◎条例も含めて、「美しい鳥取砂丘」を守るためにはどんな働き掛けが必要だろう。 ○規則で問題を解決することや規則の役割について、考えたことをまとめてみよう。	□法や規則の意義や役割について考え、進んで法や規則を守ろうとする発言や記述が見られたか。 ◇問い返しや補助発問によって規則の役割や遵法精神の意義について自分ごととして、また多面的・多角的に考えさせることができたか。	社会、理科	環境と未来、社会参画、法教育
11月 (4時間)	21 行動する建築家 坂 茂	C- (12) 社会参画、公共の精神	社会のためにできること	社会の一員として助け合いの精神をもち、社会全体の利益のために自分の能力を活用することで社会的責任が果たせることの自覚を通して、社会のために貢献しようとする実践意欲を育てる。	○東日本大震災直後の避難所の様子を知っているか。 ◆「社会のためにできること」について考えよう。 ○坂さんは、どんな思いから間仕切りシステムを考案したのだろう。 ◎坂さんが、建築家の技術をボランティアとして支援活動に生かしたのは、どんな思いからだろう。 ○社会のためにできることについて、考えたことをまとめてみよう。	□社会の一員としての自覚や自分のできることで積極的に社会に関わっていきこうとする発言や記述が見られたか。 ◇補助発問や問い返しによって、公共の精神について多面的・多角的に考えさせることができたか。	社会、数学、美術、総合	自立と共生、安全な生活、社会参画、国際理解
	22 夜のくだもの屋	B- (6) 思いやり、感謝	思いやりと感謝	人間はさりげない善意や深い思いやりによって支えられ守られていること、そしてそれらに対して感謝することの難しさを自覚し、思いやりと感謝の心をもって人と接しようとする態度を育てる。	○見ず知らずの人から、親切にされたことはあるか。 ◆「思いやりと感謝」について考えてみよう。 ○くだもの屋のあかりを見たときの少女は、どんな気持ちだっただろう。 ○見舞いの品を買いに行ったときに、少女が思わず息をのんだのはどうしてだろう。 ◎「ふたたび、声もなかった。」という少女は、何に対してこれほどまでに驚いたのだろう。 ○思いやりと、それに対する感謝の心について、大切だと思うことをまとめてみよう。	□周りの人の善意や思いやりのもつ温かさや深さに気づき、それに感謝しようとする発言や記述が見られたか。 ◇登場人物の思いを多面的・多角的に深く考えさせることができたか。	国語、音楽	
	23 アフガニスタンの人々と共に	C- (18) 国際理解、国際貢献	国際貢献とは	国際貢献とは、押し付けではなく相手の文化を尊重し、自ら持続的に平和な生活がつけられるよう共に歩むことであることの自覚を通して、自分にできる国際貢献をしようとする実践意欲を高める。	○国際貢献と聞いて何をイメージするか。 ◆「国際貢献とは」何かについて考えよう。 ○「私がいつか死んだとしても……」ときっぱり答えた中村さんは、どんなことを考えていたのだろう。 ○白衣を脱ぎ工事の先頭に立つ中村さんは、どんな思いだっただろう。 ◎中村さんは国際貢献を進めていくうえで、どんなことを大切にしていたのだろう。 ○あなたの考える国際貢献とは、どんなものだろう。	□中村さんだからできたという別次元の話ではなく、生徒にも困っている人を助けようという思いはあり、その思いを地球規模にまで広げて考える大切さや、今すぐ貢献できなくても、その考え方のよさに関する発言や記述が見られたか。 ◇相手の伝統や文化を尊重し、広い視野で相手のことを考え、相手の自立を支援する国際貢献の大切さについて考えさせることができたか。	社会、外国語、総合	自立と共生、環境と未来、安全な生活、生命の尊厳、国際理解

# 令和8年度「特別の教科 道徳」第2学年 年間指導計画案

学校の教育目標 心身共に健康な人 自ら学ぶ人 他を思いやる人  
 学年の重点項目 B(6)思いやり、感謝

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問 (◎中心発問、◆学びのキーワード)	評価のポイント (□ねらいについて、◇指導方法について)	教科等との関連	テーマ
	24 制服は誰のもの	C- (15) よりよい学校生活、 集団生活の充実	よりよい学校生活	集団の意義や目的に立ち返って集団内の多様な願いをかなえようとする中で、学校生活が充実し、校風として後輩に継承できることの自覚を通して、よりよい校風を築こうとする実践意欲を育てる。	○校風と聞いて、何が思い浮かぶか。 ◆「よりよい学校生活」に必要なことはなんだろう。 ○アンケート結果を見たとき、「僕」はどんな思いだったのだろう。 ○話し合いの中で、「僕」たちが「制服は誰のものだろう？」という言葉を出したのはなぜだろう。 ◎生徒会からの提案書には、「僕」たちのどんな思いが込められていたのだろう。 ○学校生活をよりよくするためには、どんな考えが大切だろう。	□集団の意義や目的を基に互いの思いを話し合うことでみんなの理想とするよりよい学校生活がつけられるといった発言や記述が見られたか。 ◇個々人の考えが多様である中で1つの集団として成立させるために何が大切かを多面的・多角的に考えさせることができたか。	特活	自立と共生、社会参画
12月 (2時間)	25 命を見つめて —猿渡瞳さんの 六百四十六日—	D- (19) 生命の尊さ	生きていることの意味	限りある生命について考え、苦しみの中にあっても懸命に生きること、生きることの豊かさと深まりが実現できることの自覚を通して、自他の生命を尊重して生きようとする実践意欲を育てる。	○猿渡瞳さんについて知ろう。 ◆「生きていることの意味」について考えよう。 ○瞳さんが、がんになんて全身をむしばまれながらも、毎晩作文に向き合ったのはなぜだろう。 ○瞳さんが「私、骨肉腫でよかった。骨肉腫ありがと。」と語るのはなぜだろう。 ◎瞳さんが最期まで生き抜くことができたのは、どんな思いがあったからだろう。 ○「生きている」とはどういうことだろう。「本当の幸せ」とはなんだろう。	□限りある生命について考え、懸命に生きること、生きることの豊かさと深まりが実現できることなどの発言や記述が見られたか。 ◇瞳さんの状況や作文を基に、問い返しや深める発問を行い、生命の尊さについて深く考えさせることができたか。	保体	生命の尊厳
	26 行く年、来る年	C- (17) 我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度	身近な伝統と文化	伝統文化の形は時代によって変化するが、生活の中の願いや思いは受け継がれており、自分も受け継ぐ一人であることを自覚し、日本の伝統と文化を継承しようとする実践意欲を育てる。	○年末年始の行事など、日本の伝統文化で知っていることを発表しよう。 ◆「身近な伝統と文化」に込められた思いについて考えよう。 ○伝統文化の中で、変わったものと変わらないものはなんだろう。 ○伝統や文化とは、どんなものだろう。 ◎形を変えながらも受け継がれてきた伝統文化には、どんな思いが込められているのだろう。 ○日本の伝統文化を受け継ぐとき、大切にしたいのはどんなことだろう。	□伝統と文化のよさや込められた心について考え、日本人としての自覚を深めて伝統と文化の継承に努めようとする発言や記述が見られたか。 ◇除夜の鐘以外の日本の伝統と文化を提示することにより、これまで受け継がれてきた伝統と文化には「日本人の心」があることに気づかせることができたか。	社会、特活	伝統と文化
1月 (3時間)	27 コトコの涙	B- (9) 相互理解、寛容	人から学ぶこと	相手の考えや立場を尊重し、他者と謙虚に向き合うことで新たな学びが得られることの自覚を通して、素直に自らの言動や考え方を振り返り、他者から謙虚に学ぼうとする態度を育てる。	○主人公のコトコたちは、どんな活動をしているのだろう。 ◆「人から学ぶこと」について考えよう。 ○コトコが笹岡さんに声を掛けたのは、どんな考えからだろう。 ○マサシに大声でどなりつけられたとき、コトコはどう思っただろう。 ◎田島さんの前で流したコトコの涙には、どんな意味があるのだろう。 ○ほかの人の考えから学ぶときに、大切にしたいことはなんだろう。	□他者から学ぶときに大切にしたい考え方や、それを実践しようとするような発言や記述が見られたか。 ◇生徒の意見を取り上げて問い返すことによって、話し合いを深めることができたか。	特活	自立と共生、社会参画
	28 マークはなんのために？	C- (12) 社会参画、公共の精神	誰もが生活しやすい社会	困難を抱える人が生活しやすい社会は、誰もが生活しやすい社会でもあり、自分もそんな社会をつくる一員であることを自覚し、主体的によりよい社会をつくらうとする実践意欲を育てる。	○「誰にとっても温かい社会」とは、どんなものだろう。 ◆「誰もが生活しやすい社会」を実現するために、どんなことが大切だろう。 ○マークは、社会でどんな役割をもっているのだろう。 ○ヘルプマークは、なんのためにあるのだろう。 ◎マークが果たす役割を考えたと、私たちにできることはなんだろう。 ○誰もが生活しやすい社会にするために、私たちはどんなことを考えていけばよいだろう。	□積極的に誰もが生活しやすい社会をつくらうとする発言や記述が見られたか。 ◇教材提示によって社会の課題に気づかせ、誰もが生活しやすい社会にするために自分に何ができるかを考えさせることができたか。	数学、美術、総合	自立と共生、社会参画
	29 最後のパートナー	D- (19) 生命の尊さ	生命との関わり	あらゆる生命はかけがえのないものであり、互いに支え合って生き、生かされていることの自覚を通して、自他の生命を尊重し、感謝の心をもって生きようとする心情を養う。	○動物と生活するうえで、どんな喜びや悲しみがあるだろう。 ◆「生命との関わり」について考えよう。 ○西田さんの詩は、どんな思いで書かれたものだろう。 ○西田さんは、松尾さんの手紙からどんな気持ちを受け取ったのだろう。 ◎引退犬たちが思い出させてくれた「近くにある幸福」とは、どんなものだろう。 ○西田さん、松尾さんの言葉や生き方から、あなたが学んだことはなんだろう。	□あらゆる生き物が命の尊厳をもち、種を問わず支え合って生きていることや、自他の生命を尊重し、感謝の心をもって生きようとする発言や記述が見られたか。 ◇生命の尊さ、生命のつながりや支え合い、人間や動植物なども同じ生命であるということ、教材提示や発問によって多面的・多角的に考えさせることができたか。	理科、総合	自立と共生、生命の尊厳

# 令和8年度「特別の教科 道徳」第2学年 年間指導計画案

学校の教育目標 心身共に健康な人 自ら学ぶ人 他を思いやる人  
 学年の重点項目 B(6)思いやり、感謝

月	教材名	内容項目	主題名	ねらい	主な発問 (◎中心発問、◆学びのキーワード)	評価のポイント (□ねらいについて、◇指導方法について)	教科等との関連	テーマ
2月 (4時間)	30 避難所にて	A-(2) 節度、節制	調和のある生活	規則正しい生活を自ら確立することは、心身の健康の維持だけでなく日々の生活に活力を与え、充実した生き方にも関わることを自覚し、節度、節制に心掛け、調和のある生活を送ろうとする態度を養う。	○この動画と画像を見て、思いついたことを自由に発言しよう。 ◆「調和のある生活」をするために、大切なことはなんだろう。 ○「よろずボランティア相談所」にいらなくなって、「私」たちがその場を離れたとき、どんな思いだっただろう。 ○夜、弟がポリタンクを運んでいる姿を何度も思い出すほど心揺さぶられた「私」は、何を考えていたのだろう。 ◎「私」たち三人が、避難所の皆さんへの貼紙で伝えたかったのはどんなことだろう。 ○調和のある充実した生活を送るために、大切なことをまとめてみよう。	□困難な状況を乗り越え調和のある生活を構築する大切さや、自分もそうした生き方を大切にしていることとする発言や記述が見られたか。 ◇問い返しによって、調和のある生活について自分のこととして深く考えさせることができたか。	技・家、特活	自立と共生、安全な生活、社会参画
	31 よみがえれ、えりもの森	D-(20) 自然愛護	人と自然の関係	人間は自然界のつながりの中で多くの恩恵を得ており、過去と現在の自然との関わり方が未来へとつながっていくことの自覚を通して、自然に感謝しながら守り大切にしようとする態度を育てる。	○この二つの写真は、同じ場所を撮影したもの。どこが違うだろう。 ◆「人と自然の関係」において、大切なことはなんだろう。 ○「おれたちの手で、海とふるさとを、よみがえらせるべ。」と常雄さんが決意したのはなぜだろう。 ○さまざまな困難に直面しても、常雄さんたちが諦めなかったのはどんな思いからだろう。 ◎「えりもの人たちの森づくりは、おわらない。」という言葉には、どんな思いが込められているのだろう。 ○自然とどう関わっていくことが大切か、考えたことをまとめてみよう。	□人間が自然界のつながりの中で生かされていることや、自然に感謝し守ろうとする発言や記述が見られたか。 ◇問い返しなどによって、人間と自然の関係は過去から未来へとつながっていることについて深く考えさせることができたか。	理科、総合	環境と未来
	32 足袋の季節	D-(22) よりよく生きる喜び	人間の弱さと強さ	人間の内にある弱さや醜さに向き合って自分を奮い立たせ、強さや気高さに変えることで自己を肯定して生きていけることの自覚を通して、人間として生きる喜びを見いだそうとする態度を培う。	○「私」は日々どんな生活をしていたのだろう。 ◆「人間の弱さと強さ」について考えよう。 ○「私」の弱さが表れている場面を挙げてみよう。その場面には、「私」のどんな弱さが表れているのだろう。 ○泣けて泣けてどうしようもなかった「私」は、何に対して涙を流したのだろう。 ◎二度と謝ることができなくなった「私」は、自分の弱さとどのように向き合って生きていったのだろう。 ○私たちは、自分のもつ弱さとどのように向き合っていけばよいのだろう。	□後悔から楽になろうとする私たち人間の弱さや醜さ、それらを強さに変え、気高く生きていこうとする人間の強さなどについての発言や記述があったか。 ◇問題解決的な学習や心情に共感させる展開によって、前向きに生きようとする考えを深めさせ、自分の弱さを強さに変えて生きようと考えさせる授業構想であったか。	国語、社会	
	33 恋する涙	B-(8) 友情、信頼	友達との関係	冷静に自分を見つめ直し、友達との関係上の悩みや葛藤を乗り越えることで友情は培われるものであることの自覚を通して、友達と互いに尊重し合える関係を築いていこうとする実践意欲を高める。	○「恋したら、いろんなことが、見えてくる……。」とあるが、どんなことが見えてくると思うか。 ◆「友達との関係」で大切なのは、どんなことだろう。 ○友だちに打ち明けられた「私」は、どんな思いだっただろう。 ○彼の嫌なところばかり探している「私」をどう思うか。 ◎「私」が、「この体験」で学んだことはなんだろう。 ○友達とよりよい関係を築いていくためには、どんなことが大切だろう。	□友情は悩みや葛藤を乗り越えることで培われるものであることや、冷静に自分を見つめ、友達と互いに尊重し合おうとする発言や記述が見られたか。 ◇受容的な態度で生徒の意見を聞き、心情メーターなどを活用することで、全員が参加できる授業を構築できたか。	保体、特活	
3月 (2時間)	34 包む	C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	伝統と文化への向き合い方	日本の伝統と文化の根底には先人が大切にしてきた心が込められており、その心は現代にも受け継がれていることの自覚を通して、我が国の伝統と文化を継承しようとする態度を育てる。	○日本の「包む」という伝統文化について、どんなものを思い浮かべるだろう。またこの文化についてどう思うだろう。 ◆「伝統と文化への向き合い方」について考えよう。 ○「ふるしき」はどんな使われ方をしてきたのだろう。また現在はどうだろう。 ○ふるしきと日本の布団や部屋、和服の共通点はどこだろう。 ◎日本文化としての「包む」は、どんな思いの表れなのだろう。 ○時代が移りゆく中で、私たちは伝統と文化にどう向き合っていけばよいだろう。	□我が国の伝統と文化のよさに関心をもち、「日本人の心」の奥深さについて考えている発言や記述があったか。 ◇「包む」という行為を伝統と文化の観点から見つめさせることができたか。	社会、技・家	伝統と文化
	35 きいちゃん	C-(14) 家族愛、家庭生活の充実	自分と家族	家族は一人ひとりが深いきずなで結ばれたかけがえのない存在であり、家族の存在がお互いの生きる支えになることの自覚を通して、信頼と愛情のある家庭生活を築いていこうとする心情を育てる。	○家族は、あなたにとってどんな存在か。 ◆「自分と家族」は、どんな関係なのだろう。 ○きいちゃんは、なぜ「生まれてこなければよかったのに……。」と言ったのだろう。 ○きいちゃんは、どんな思いでゆかたを縫い続けたのだろう。 ◎「妹はわたしの誇りです。」というおねえさんの言葉を、きいちゃんやお母さんはどんな思いで聞いたのだろう。 ○あなたは家族にとってどんな存在になりたいか、考えをまとめてみよう。	□家族相互の結びつきや、自分もまた家族を支えている存在であることなど、生徒自身の家族への思いや、将来の家庭生活の在り方について思いをはせている発言や記述があったか。 ◇きいちゃんの心の変化が生き方の変容につながっていったことについて、じゅうぶんに意見を交換させることができたか。	社会、技・家	自立と共生